

## 教科別授業改善推進プラン（国語科）

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・本を借りる機会を増やし読書量を増やすことで、物語文については、叙述をもとに内容を読み取ることができた。
- ・「書くってたのしいね」や辞書の活用などにより、言葉のきまりや文章の書き方、修飾語などの理解ができるようになってきた。
- ・朝学習や漢字検定、宿題等を通して、漢字を読む力が身に付いた。

#### (2) 課題

- ・文章構成や段落を意識して、自分の考えを文章で書く力が弱い。ただ文章を書くのではなく、内容の構成を考えてから文章を書く力を身に付ける必要がある。
- ・漢字を書く力には個人差が見られ、習った漢字を覚えて活用する力が身に付いていない児童もいる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率(観点別経年比較)

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」「≒…ほぼ同等」

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	<b>観点別</b> ・知識・技能 ≒ ・思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼	/	/
第5学年	<b>観点別</b> ・知識・技能 △ ・思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △	<b>観点別</b> ・話す聞く △ ・漢字 読み△書き△ ・書く △ ・読む △ ・言葉の学習 ▼（4年時）	/
第6学年	<b>観点別</b> ・知識・技能 ≒ ・思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ≒	<b>観点別</b> ・話す聞く △ ・漢字 読み△書き▼ ・書く ▼ ・読む（物語△説明文▼） ・言葉の学習 △（5年時）	<b>観点別</b> ・話す聞く △ ・漢字 読み△書き△ ・書く ▼ ・読む △ ・言葉の学習 △（4年時）

(2)分析

4年	<p>全体の正答率は、区の目標値を上回るものもあるが、下回るものが多い。</p> <p>○漢字の読みについては、多くの児童が身に付いている。</p> <p>●指定された長さで、2段落構成で自分の考えと理由を書く問題では、目標値より10ポイント以上下回り、文章を論理立てて書く力が身に付いていない児童が多い。</p> <p>●言葉の学習の主語と述語の問題では目標値より10ポイント下回り、主語述語の理解が身に付いていない児童が多い。</p>
5年	<p>全体の正答率は、区の目標値を上回るものが多い。話す・聞くでは、ほぼ平均だった。</p> <p>○説明文の内容を読み取り、情報と情報との関係について理解し、中心となる語を見付けて要約することがよくできていた。</p> <p>○ことわざの意味を知り正しく使ったり、漢字辞典の使い方を理解したりする力が身に付いている。</p> <p>●連用修飾語の問題では目標値より25ポイント以上下回り、理解が不十分である。</p>
6年	<p>全体の正答率は、区の目標値を上回るものが多い。文章を書く力は、目標値よりも下回った。</p> <p>○説明文を読んで、理解したことに基づいて自分の考えをまとめる力が身に付いている。</p> <p>●漢字の読みについては、多くの児童が身に付けているものの、無解答者もいて、3問中1問は目標値を下回った。</p> <p>●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いたり、資料から読み取った事実を書いたりする問題では10ポイント以上下回り、身に付いていない児童が多い。</p>

3 重点課題

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を正しく聞き取ることや、自分の伝えたい内容が伝わるように話すこと。</li> <li>・自分の伝えたい内容を文章で表現すること。</li> <li>・「は・を・へ」などの助詞や促音・長音・拗音を、正しく表記すること。</li> <li>・平仮名・片仮名・漢字の字形や書き順を正しく理解すること。</li> <li>・文章の大体的内容を捉えること。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話等において、話題に沿って自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いて感想や質問を返したりすること。</li> <li>・正しく音読すること。</li> <li>・読書量を増やすこと。</li> <li>・習った漢字やカタカナ、助詞、かぎを文の中で正しく使うこと。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙を増やすこと。</li> <li>・既習漢字の「読み・書き」を定着すること。学習した漢字を使って文章を書くこと。</li> <li>・学習した物語文や説明的な文章については、登場人物の気持ちや筆者の意図などを考えて読むこと。</li> <li>・1回で話を聞き取ること。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書き、送り仮名を正しく書けるようにすること。</li> <li>・自分の考えと理由を書く際には、どのような内容で書くか見通しをもち、課題に応じて文章を書けるようにすること。</li> <li>・文章を書いた後に主語と述語が合っているか確認し、書いた文章を振り返るようにすること。</li> <li>・物語文や説明的文章については、文章の構成や場面の関係を捉えて内容を読み取ること。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的な文章の構造を捉えて中心となる語句や要旨を把握すること。</li> <li>・自分の考えについて筋道を立てながら、構成を考えて書くこと。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的な文章の「事実と筆者の考え」を区別して読むこと。</li> <li>・様々な条件で一定の長さの文章を書くこと。</li> <li>・漢字の読み書きが定着すること。</li> </ul>

#### 4 授業改善策

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチや話し合い活動を通して、質問や感想を言う機会を設け、話の大事なところを聞き取るようにさせる。</li> <li>・作文指導等を通して、正しい表記の仕方や自分の考えを表現する力を高めていく。</li> <li>・平仮名、片仮名、漢字において、字形や書き順を意識させた上で、反復練習や個別指導を行い、正しく理解させる。</li> <li>・時間的な順序や場面の様子を抑えること。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何について話し合うのか、話題をとらえさせたり、自分の考えやその理由を明確にもたせたりする。</li> <li>・友達の考えを聞いた時の感想や質問の話型を示す。また、良い考えだと思った友達や友達の考えから学んだことを紹介する機会を作る。</li> <li>・授業や家庭学習で音読をさせ、読む習慣を定着させるようにする。また、本の読み聞かせや本の紹介を通して、児童にも「読みたい」という意欲をもたせる。</li> <li>・全教科の学習を通して、書く活動を行う際は、声かけをして、漢字を使おうとする意識を高める。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を使って言葉の意味を調べたり、言葉を集めたりする学習を行う。</li> <li>・音読の練習や、学習した言葉、漢字を使って文章を書くことを継続して続けさせる。</li> <li>・新出漢字の練習や小テストを定期的に行い、反復練習をさせる。</li> <li>・物語文では場面ごとに登場人物の気持ちの変化を捉えさせる。</li> <li>・説明的な文章では、問いと答えに着目し、筆者の意図を捉えていく。</li> <li>・基礎基本の時間に聞き取りテストを月に1回程度実施して意識付けする。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字は小テストや宿題、朝学習を通して確実に定着させる。</li> <li>・自分の考えを書くときには、書く前に課題を確認し、教師が例などを提示した後に書く活動を行うことで、見通しをもってから取り組ませる。</li> <li>・自分の考えを書く際には、書いた後必ず読み直しをするよう促す。</li> <li>・物語文や説明的な文章では、意味段落や場面ごとに読んだり、文章の構成を考えさせたりすることで、文章全体の内容を捉えさせる。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的な文章の全体を通してどのように構成されているかを考えさせる学習を継続する。筆者の挙げている事例や考えに着目し、全体で共有する時間を多く設定する。</li> <li>・説明的な文章の意図を捉える習慣を身に付ける。また、大切な言葉や中心となる語句を見つけ、要約したり要旨をまとめたりする活動に取り組んでいく。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文な文章では、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見をもっているのかに着目させる。そのために、事実と意見とを色を変えてサイドラインを引かせたり、文末表現に気付かせたりする。</li> <li>・漢字のテストとは別に、毎日宿題の漢字が定着しているか確認をする。また、楽しく取り組めるように漢字ビンゴを行うなど工夫をする。</li> <li>・単元ごとに構成を考えて、字数を指定し自分の考えを書かせる。</li> </ul>
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くって楽しいね」を活用し、言葉のきまりや文章の書き方を身に付けさせる。</li> <li>・学校図書館を活用し、読書学習司書と連携した授業を行う。 読書目標に挑戦させ、読みの力や語彙を身に付けさせる。 (低学年 120 冊、中学年 100 冊、高学年 80 冊または 10000 ページ)</li> <li>・漢字の学習について小テストや朝学習を通し、反復練習を行うことで定着を図る。</li> </ul>